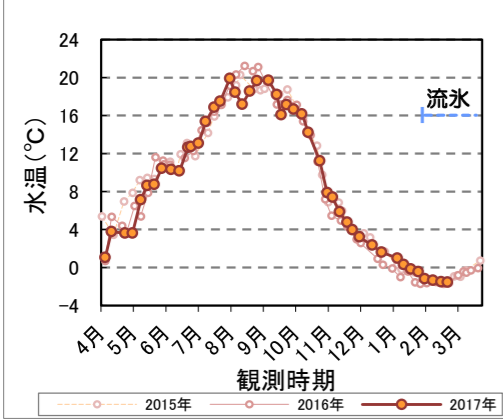


◎オホーツクタワーの動物プランクトン分析速報 (2018年2月)

海洋環境データ

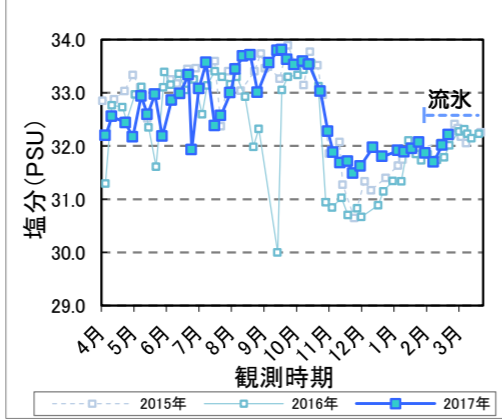
※観測：紋別市

◎水温 (0~9mまでの平均値)



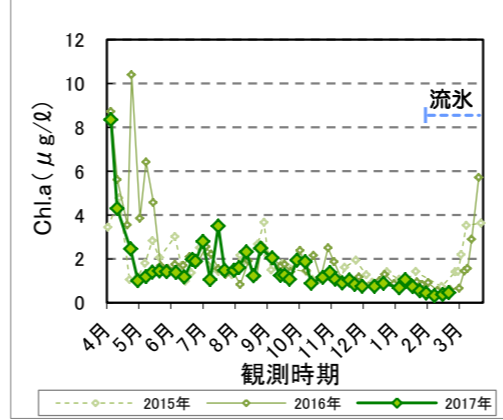
※2018年 1月30日：流水初日、2月5日：接岸初日 発表

◎塩分 (0~9mまでの平均値)



※2018年 1月30日：流水初日、2月5日：接岸初日 発表

◎Chl. a (0~9mまでの平均値)

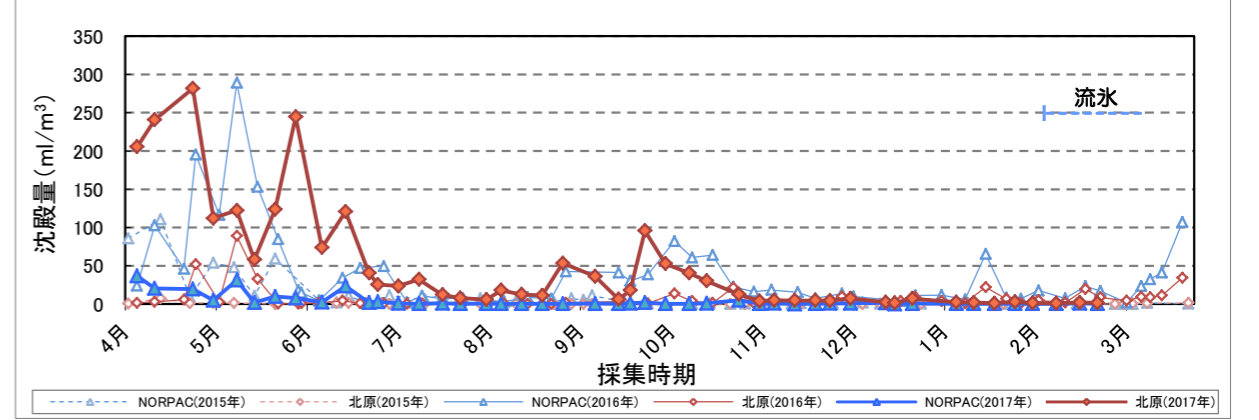


※2018年 1月30日：流水初日、2月5日：接岸初日 発表

動物プランクトンデータ

※分析：(株)エコニクス

◎動物プランクトン・沈殿量



※2018年 1月30日：流水初日、2月5日：接岸初日 発表

概要

Table with 5 columns (dates: 2月4日, 2月12日, 2月20日, 2月26日) and 6 rows (Average Water Temp, Average Salinity, Average Chl.a, Sedimentation, Main Species, Remarks). It details environmental and zooplankton data for each date.

出現量の多かった種類

Grid of images and descriptions for six zooplankton species: Calanus glacialis, Acartia longiremis, Pseudocalanus newmani, Oithona similis, Eurytemora herdmani, and Copepoda (nauplius).

※Calanus glacialisは今回の調査に含められなかったが、参考として記載した。

※種名の先頭に「◎」がつく種類は、出現量の多い種類を示す。[...]内の「+」は分析者主観による個体数の多さを示す。[...]内の「+」は分析者主観による個体数の多さを示す。[...]内の「+」は分析者主観による個体数の多さを示す。...